

潜水員(1/2)

1 職種とその内容

潜水員とは、潜水深度(潜る深さ)と仕事・任務の内容により、次の3つに大別されます。

その細部は下段の説明のとおりです。

スクーバ潜水



水中処分



飽和潜水



特 技	仕 事・任 務 の 内 容
スクーバ潜水	開式スクーバを使用し、水深約20メートルまでにおける簡単な水中作業(錨調査、艦底調査、遺失物搜索等)を行います。
水中処分	半閉式スクーバを使用し、水深約50メートルまでの水中にある機雷・不発弾等の爆発物を搜索及び処分します。
飽和潜水	混合ガス(ヘリウム・酸素)を呼吸して潜水し、深い海底に沈没した潜水艦等を救助します。(現在、水深450メートルまで潜水した実績があります。)

潜水員(2/2)

2 主な勤務地

スクーバ潜水員:各地方総監部を基地とする護衛艦等に乗りに組んでいます。

水中処分員:各地方総監部と沖縄にある水中処分隊及び各地方総監部を基地とする掃海艦(艇)に乗りに組んでいます。

飽和潜水員:横須賀の潜水医学実験隊及び横須賀、呉の潜水艦救難(母)艦に乗りに組んでいます。その他、第1術科学校等の教育部隊などがあります。

3 各職種に必要な身体能力

開式スクーバ課程入校時に行われる健康診断、水泳能力検定及び耐圧検査に合格しなければなりません。

4 取得可能な資格及び免許

潜士免許(合格率は、ほぼ100パーセント)

5 ライフプラン

本職種は特殊な職種であり、本人次第(体が資本)で、永年に渡り勤務が可能です。

6 女性自衛官

過去約10名が潜水員となり、各部隊で活躍した実績あり。

7 その他(国際貢献等)

平成3年のペルシャ湾の機雷除去、トルコ被災者支援、えひめ丸災害派遣、イラク人道支援において大活躍。

現在は、インド洋における洋上給油やソマリア沖海賊対処のために派遣される護衛艦に乗りに組み活躍中です。

8 先輩からの一言

潜水は厳しい世界ですが、仕事をやり遂げた時の達成感、充実感が最高です。潜水は、私の生き甲斐です。

